

～下記の研究を行います～

『食道亜全摘標本における食道壁厚の年次変化とそれに関与する要因についての研究』

【研究責任者】 大阪医療センター臨床検査診断部 眞能正幸

【研究の目的】 食道癌取扱い規約では、外科切除標本は、生体内における長さに可及的に近い状態に引き伸ばして固定することになっていますが、近年、十分に引き伸ばされずに固定されている標本が増加してきている印象があります。そこで、食道癌で食道亜全摘術を受けられた患者さんの外科切除標本から作製された病理組織標本について壁の厚さを測定し、その年次変化を明らかにし、それに関与する要因について検討します

【研究の期間】 研究許可日～2021 年 12 月 31 日

【研究の方法】

●対象となる患者さん

2000 年 1 月 1 日～2019 年 12 月 27 日までに当院で食道癌と診断され食道亜全摘術を受けられた方

●研究に用いる試料・情報の種類

試料：保存されている病理標本

情報：病理組織標本における粘膜上縁から固有筋層下端までの距離（厚い部と薄い部、及びその比）、切除日、切除方法、手術時間、癌の存在部位、病理学的事項、術前治療の有無と内容等

【研究の資金源】

大阪医療センター臨床検査科治験研究費分配金

【利益相反】

臨床研究における利益相反（COI (シーオーアイ) : Conflict of Interest) とは、「主に経済的な利害関係によって公正かつ適正な判断が歪められてしまうこと、または、歪められているのではないかと疑われかねない事態」のことを指します。具体的には、製薬企業や医療機器メーカーから研究者へ提供される謝金や研究費、株式、サービス、知的所有権等がこれにあたります。

なお、本研究の利益相反については、当院の利益相反審査委員会で審査され適切に管理されています。

- ◎本研究に関するご質問等がありましたら、下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
- ◎ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。
- ◎情報等が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には、研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも、患者さんに不利益が生じることはありません。

国立病院機構大阪医療センター
〒540-0006 大阪府大阪市中央区法円坂2丁目1-14
TEL (06) 6942-1331 (代)
研究責任者 臨床検査診断部・部長 眞能正幸